

共同アピール

四国の新幹線導入に向けて

平成 28 年 3 月 23 日

一般社団法人 徳島経済同友会

一般社団法人 香川経済同友会

土佐経済同友会

愛媛経済同友会

我々四国 4 地区の経済同友会は、地域の活性化をめざし、それぞれ企業の枠を超え、個人の資格で自由闊達に議論を行い、調査研究や提言を行うなどの各種活動を展開しているところであります。

その活動の中で、私たちが住むこの四国には多くの物的・人的資源があり、真摯に地域が発展することを願い努力をしていくという強い意志はあるものの、島国である四国が発展していくために必要な他圏域や大都市圏とを結ぶ高速交通ネットワークの整備が遅れていることを痛感している次第であります。

このため、一昨年以来、四国の新幹線導入について検討をし、意見交換を行ってきたところでありますが、それらの成果も踏まえ、本日、この松山の地において、「四国の新幹線導入に向けて」を共同アピールとして取りまとめ、関係機関への働きかけを積極的に行っていくこととしました。

[共同アピール]

昨年 3 月に北陸新幹線が金沢開業し、この 3 月には北海道新幹線も函館まで開業。更に、リニア中央新幹線の着工など新幹線の整備が着々と進む中、四国の新幹線計画は 40 年以上も「基本計画」に留まっており、日本列島において四国だけが空白地帯となっている。

新幹線は、地方創生をめざした交流人口の拡大による地域経済の活性化や観光振興のための重要なインフラであり、併せて災害に強い地域づくりにも資するものであって、四国を含む全国新幹線網の早期整備は、国の基本政策にも適うものである。

については、平成 26 年 4 月の「四国における鉄道の抜本的高速化に関する基礎調査」を基に、基本計画に留まっている四国の新幹線を整備計画へ格上げし、その早期導入を図るべきである。